

令和3年度

訪問支援を行った先生方へのアンケートの結果

乙訓教育局管内の経験の浅い先生方の困り感や課題を把握し効果的な支援につなげるために、令和3年度に教職員支援アドバイザーが参観、面談した先生方にアンケートを依頼しました。

◇ アンケートの対象

- ・ 令和3年度に教職員支援アドバイザーが支援した先生98人(小学校69人中学校29人)にアンケートをお願いし、そのうち82人から回答をいただきました(回収率 83.7%)。

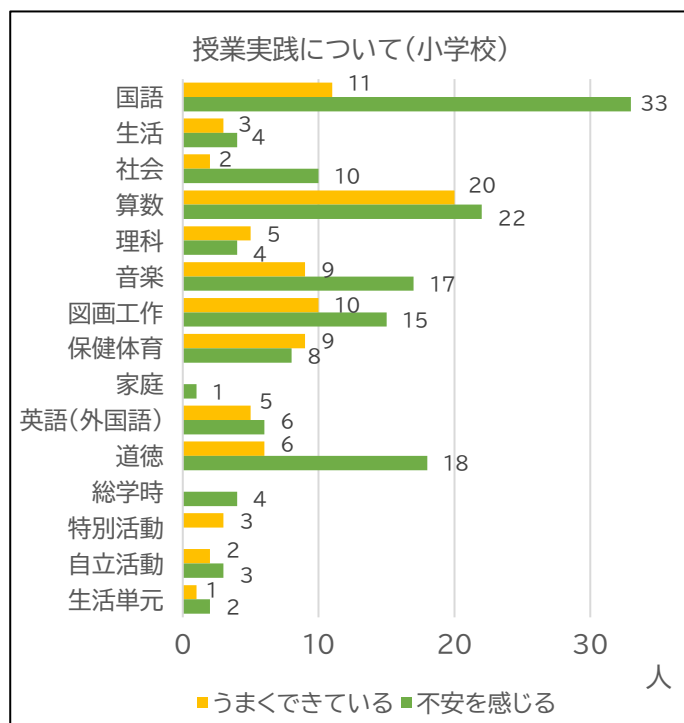
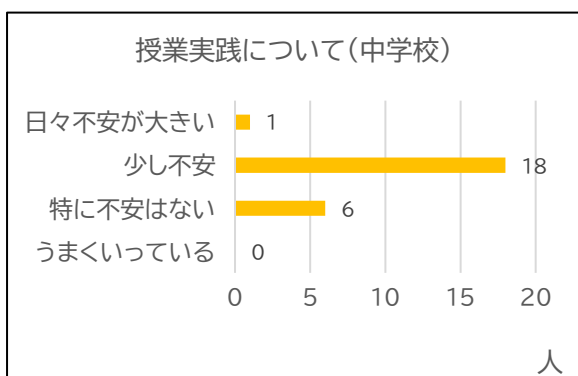
◇ アンケートの内容

- ・ 授業実践について
【小学校】うまく実践できていると思う教科・領域、不安を感じつつ実践している教科・領域
【中学校】うまく実践できている授業、不安を感じつつ実践している授業
- ・ 比較的問題なく指導・対応できている授業以外の業務・課題、不安を感じつつ指導・対応している業務・課題
- ・ 困ったときに相談する相手
- ・ 自己研鑽を積むために活用するツール
- ・ その他、アドバイザーへの要望等(記述)

◇ アンケートの結果

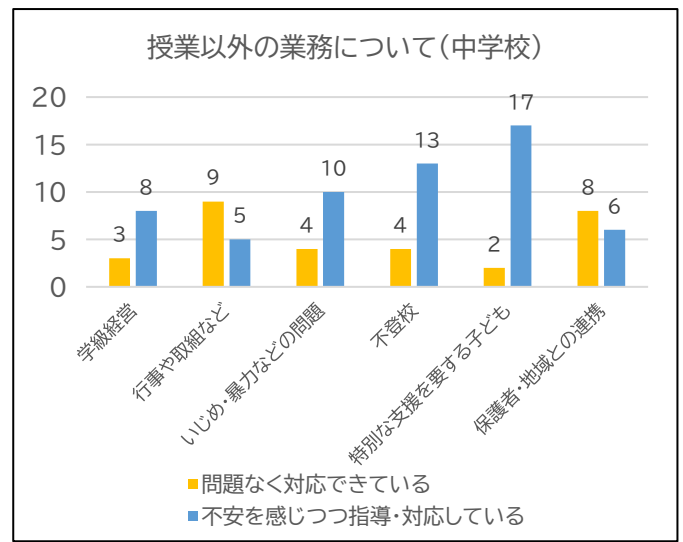
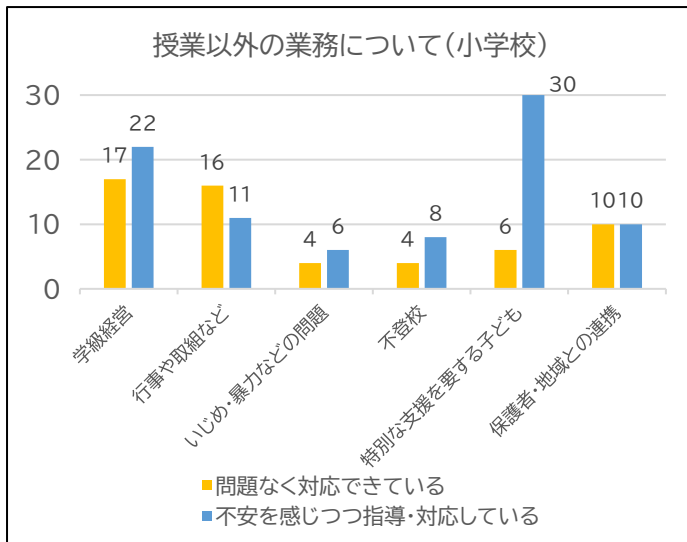
ア 授業について

- ・ 小学校では、授業実践の困り感は国語、算数、道徳といった教科に大きかったです。ただ、算数については自信を持っている先生が多いようでした。
- ・ 中学校についても、授業実践に不安を感じている先生が多かったです。



イ 授業以外の業務について

- ・ 小・中ともに特別な支援を要する子どもの対応について困り感が大きかったです。それに次いで、小学校では学級経営、中学校では不登校やいじめ暴力への対応に困り感を持つ先生が多かったです。
- ・ 一方で、行事や取組などは「問題なく対応できている」と感じている先生が多かったです。



ウ 困ったときに相談する人

- ・ 小学校では主任(教務主任、学年主任、生徒指導主任など)、中学校では同僚(先輩)に相談するという先生が最も多かったです。

エ 自己研鑽に用いるツール

- ・ 小・中ともに「ネット・SNS」が最も多かったです。次いで多かったのが「書籍」「校内研修」でした。

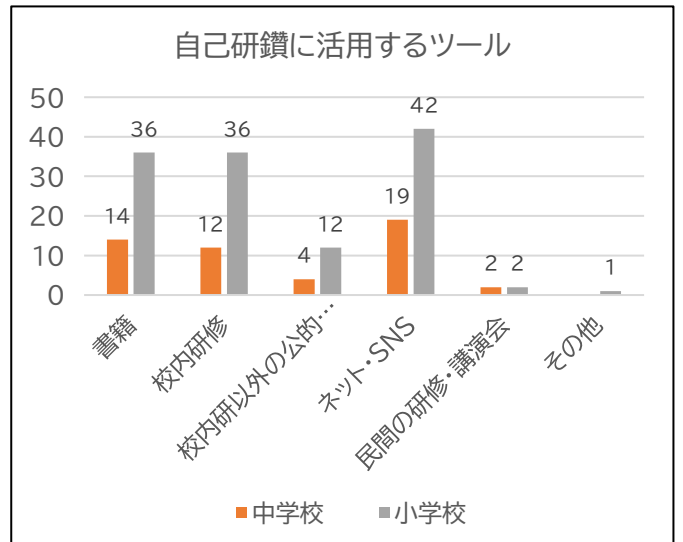
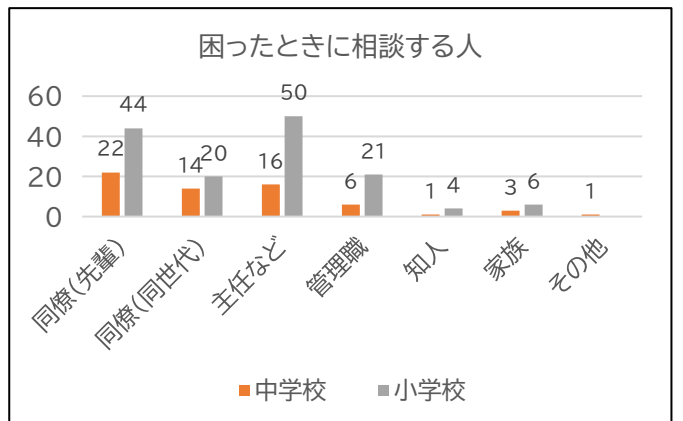
オ その他、要望等(記述による回答)

【小学校】

- ・ 児童の叱り方を教えてほしい。
- ・ 学級経営について学びたい。
- ・ 1年を通した授業参観・助言をお願いしたい。
- ・ タブレットなどのツールを授業に取り入れるヒントがほしい。
- ・ 音楽の指導について学びたい

【中学校】

- ・ 授業改善への支援をお願いします。
- ・ 他教科の実践(特に活動している場面)を学ぶことは、自分の教科に生かせると思うので興味があります。



◇ アンケートの結果を受けて...

- ・ 今後の教職員支援アドバイザーの支援について、以下を検討する必要があります。

- 小学校における国語及び道德の授業づくりについて
- 中学校の授業づくりにおける困り感の把握について
- 特別な支援が必要な子どもへのアプローチなどについて
- 先生方が頼みとする主任、先輩教員等中堅教員との連携について
- 動画、インターネット等を活用した支援について